

被災地から学ぶ障がい者支援のリアル —あの時、支援者はどう動いたか—



写真：ただいまふくしま
『南相馬の海岸通りと風力発電』

知る・備える・動く！

「支援の“**そのとき**”に備える、
実践的学び」

[日時] 令和8年1月17日(土)

13:30~17:00

[会場] 釧路市生涯学習センター
2階多目的ホール
(釧路市幣舞町4-28)

参加費無料
定員**100名**
(事前予約制)

主催:釧路市・釧路市障がい者基幹相談支援センター

お申込みは
こちらへ

FAX:0154-65-6470

【裏面】参加申込書を記載しFAX、
もしくは右記QRコードより申込

申込フォーム▶



プログラム

- 基調講演
『被災地の現場から、
福祉専門職の役割と備えを学ぶ』



講師:社会福祉法人
ほっと福祉記念会
理事長 鈴木 康弘 氏

- シンポジウム
『被災地の現実から考える、
支援者に求められる行動と備え』

- ・体験報告
「東日本大震災
被災地・避難所の現場から」

発表者:一般社団法人8色
代表理事 四條 拓哉 氏

- ・講師・パネリストによる
ディスカッション

詳細は裏面に記載

『福祉×防災～支援者のための防災研修～Vol.2』

参加申込書

所 属 団 体 名		
代 表 者 連 絡 先	代表者 住 所	職 名 TEL

職 名	氏 名	配慮事項 (必要な配慮がありましたら、 ○を付けて下さい)
		車いす・手話通訳・要約筆記

質問がある方はコチラにご記入ください。

申込期限:令和7年12月26日(金)

必要事項を記載しFAX(65-6470)もしくは、
右記QRコード(Googleフォーム)より申込ください。



「福祉×防災～支援者のための防災研修～Vol.2」内容

■場 所：釧路市生涯学習センター 2階多目的ホール（釧路市幣舞町4-28）

	研修のねらい・内容
第1部 『基調講演』	<p>□東日本大震災の被災地・福島で、障がいのある人やその家族の支援に奔走した福祉専門職としての実践を通じ、現場で直面した課題と教訓を共有します。混乱の中で見えてきた支援体制の限界、避難行動の現実、そして“あの時”に必要な支援とは何だったのか—。 被災地での経験から、今、私たちが釧路で備えるべきことを考えます。</p> <p>◆講演 「被災地の現場から、福祉専門職の役割と備えを学ぶ」 講師 鈴木 康弘 氏（社会福祉法人ほっと福祉記念会 理事長）</p>
第2部 『シンポジウム』	<p>□東日本大震災の被災地で実際に支援にあたった専門職の体験を通して、災害時に障がいのある人や家族が直面した現実を共有します。 避難をためらう当事者、途絶する支援体制、外部支援の難しさ—その中で支援者は何ができたのか。被災地の経験を釧路の防災にどう活かすか、福祉職・相談支援専門員・地域の支援者がともに考えます。</p> <p>◆シンポジウム「被災地の現実から考える、支援者に求められる行動と備え」</p> <p>①体験報告「東日本大震災 被災地・避難所の現場から」 発表者 四條 拓哉 氏（一般社団法人8色 代表理事）</p> <p>②講師・パネリストによるディスカッション</p>

【お問合せ・申込み先】

釧路市障がい者基幹相談支援センター(担当:林)

住所)〒085-0006 釧路市双葉町17番10号 電話)0154-65-7380